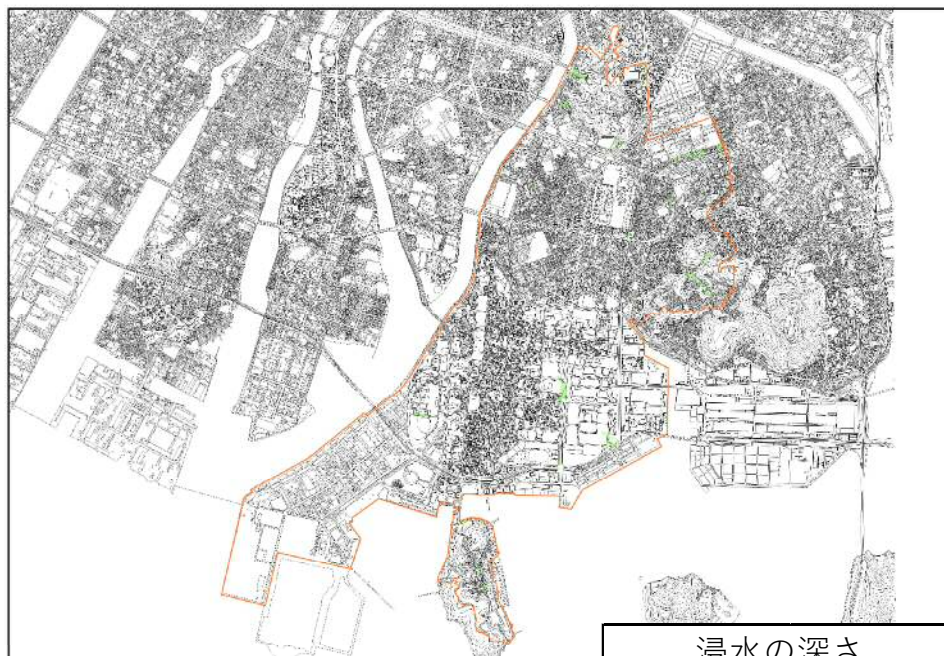
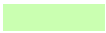


● 浸水想定区域図と雨の降り方

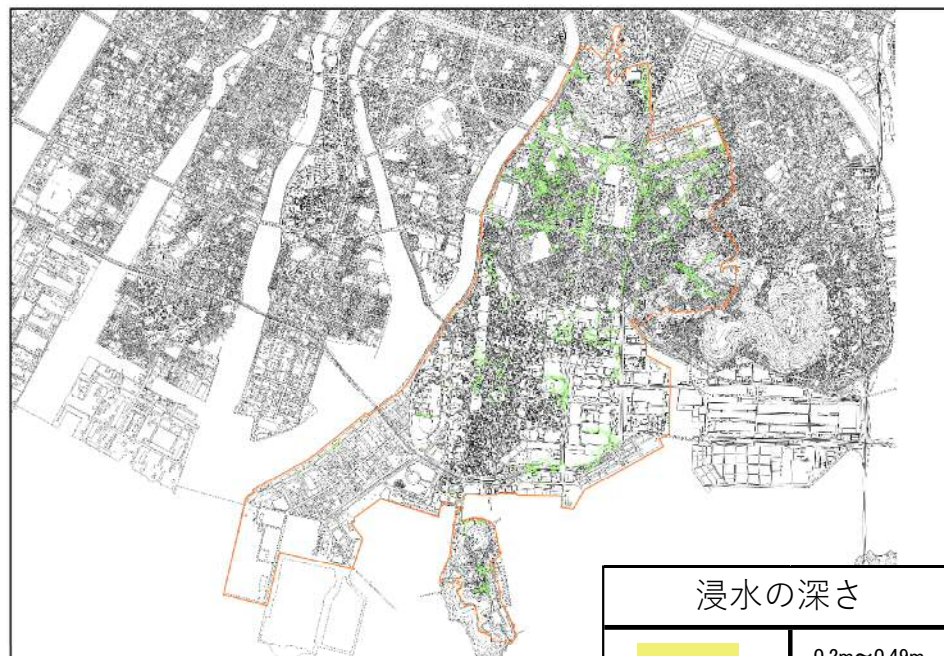
令和3年(2021年)5月時点で下記の雨が降った場合を想定しています。


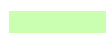
《1時間雨量30ミリ》



浸水の深さ	
	0.01m~0.19m

《1時間雨量53ミリ》



浸水の深さ	
	0.2m~0.49m
	0.01m~0.19m

予報用語

人の受けるイメージ

屋外の様子

強い雨
(1時間雨量
20~30ミリ)



どしゃ降り

地面一面に
水たまりができる

予報用語

人の受けるイメージ

屋外の様子

非常に激しい雨
(1時間雨量
50~80ミリ)



滝のように降る
(ゴーゴーと降り続く)

水しぶきであたり
一面が白っぽくなり、
視界が悪くなる

● 浸水への心得 最新の気象情報に、ご注意ください。

● 雨水ますや側溝の点検・清掃等にご協力をお願いします。

雨水ますや側溝の点検・清掃、新築・改築時の敷地のかさ上げ、お年寄りや子どもなどの避難時の助け合いなど、みなさんのご協力をお願いします。



側溝清掃

雨水ますや側溝に泥や落ち葉、ゴミが詰まると浸水の原因となります。日ごろから点検・清掃にご協力をお願いします。



新築・改築の場合、宅内への浸水を防ぐために、敷地のかさ上げや地下施設の入口を高くすることをご検討下さい。

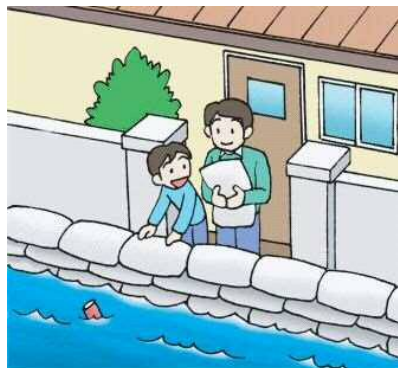


周囲の浸水状況に応じて、自宅2階又は避難所へ早めに避難しましょう。近所のお年寄りや子ども、病気の人などの避難には、みなさんで助け合いましょう。

● 浸水を止める用具を準備しておきましょう。

浸水が浅い場合は、浸水を止める用具(土のうなど)を置くことが有効です。※止水板設置補助金については、表紙をご覧ください。浸水に備えて準備しておきましょう。

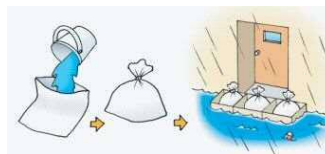
浸水を止める用具例：身近にあるもので簡単に止水が出来ます。



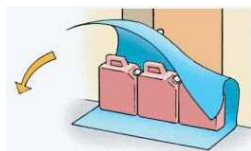
土のう設置



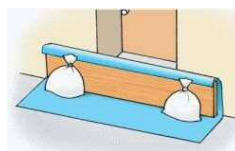
プランターとレジャーシート
の組合せ



水を入れたビニール袋とダンボール箱の組合せ



ポリタンクとレジャーシート
の組合せ



長めの板、レジャーシートと土のうの組合せ

● 浸水時には、ご注意を。



大雨により、マンホールのふたが外れることがあります。場所がわからなく、危ない場合もありますので、前方の安全を確認しながら通行しましょう。

● 大雨時の地下室、地下街・地下通路に、ご注意を。

大雨時の地下室の利用は危ないです。浸水の危険があるときは、早めに避難しましょう。大雨時の地下街・地下通路の利用は、危ない場合もありますので、注意しましょう。



地上が浸水すると水が一気に流れ込む



停電して、エレベーターなどが使えなくなる



水圧でドアが開かなくなる